

編集発行
 和歌山県北山村議会
 TEL 0735-49-2331
 FAX 0735-49-2207



北山村 議会だより



※6月30日～7月1日開催のじゃばらカップ カヌー大会に出場し
 激流の中ゲートを潜りぬける政策推進室の小林賢司さん

平成30年6月定例会が開催されました

平成30年6月定例会 補正予算等を審議/可決 P2～3

議員が村政を問う(一般質問) P4～5

議会活動 P6 議会懇談会が開催される P7

議会日誌 編集後記 P8

平成30年6月定例会 ～補正予算等を審議・可決～

本定例会は、6月18日から20日まで（会期3日間）開催されました。18日の開会日は、諸般の報告として平成30年6月における村長の行政報告並びに提案理由の説明があり、その後上程された議案（条例の制定及び一部改正が3件、平成29年度一般会計及び特別会計の補正予算に関する議案が6件、平成30年度補正予算に関する議案が4件）が審議されました。

また、「2025年国際博覧会の誘致に関する決議」が前岡議員により発議され、合計19件の議案が審議され、それぞれ原案どおり可決承認されました。

村長の行政報告の説明の主な内容

- 5月25日～26日に北海道音威子府村にて開催された「小さな村g7サミット」では「教育」がテーマであり、子育て、教育支援について情報交換を行った。平成31年度は北山村で開催することが決まっている。
- 今年で3回目となるじゃばらカップカヌー大会は、6月30日、31日に開催される。本年度のじゃばらカップは国体カヌー大会近畿ブロック予選との同時開催となっている。
- 小松地区携帯電話等エリア整備事業は、平成30年10月着工、平成31年1月完成、2月からの運用開始予定となっており、観光客の利便性の確保、非常時の広域消防との緊急連絡網の確保が図られる。
- ガソリンスタンド建設については、災害時の燃料確保を重点におき、31年度以降早期に設置することを計画しているが、財源確保や採算の面で懸念があるため、今後十分な検討が必要となっている。

本議会で議決された主な条例

- 北山村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定
介護保険法に基づき指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定めるもの。
- 北山村税条例の一部改正
給与所得控除、公的年金控除の控除額を10万円引き下げ、どのような所得にでも適用できる基礎控除の控除額を10万円引き上げるなどのほか各種控除の見直し。
たばこ税率の引き上げ（1箱当り60円）。加熱式たばこに対する課税。

30
年
度
補
正
予
算
歳
出
の
主
な
も
の

| 事業名 | 事業内容 | 金額（千円） |
|---------------|--|--------|
| 小松地区携帯エリア整備事業 | 観光筏下り、ラフティングなどの観光の拠点であるおとりのり～小松地区における携帯電話のアンテナの整備を行う。 | 47,970 |
| 森林整備地域活動交付金 | 森林所有者が行う森林経営計画の作成、間伐促進、森林境界の明確化等の事業に対して補助を行う。 | 700 |
| 小規模事業者持続化補助金 | 商工会会員である事業主が実施する看板・パンフレットなどの英語化、消防設備の整備などの事業に対して補助を行う。 | 1,000 |

平成30年度の補正予算などの審議

質疑の主な内容

30年度 補正予算

【質問】道路橋梁維持費の600万円については、どのような事業内容になっているのか？

【答弁】各区からの村道維持補修の陳情箇所について実施するために予算計上をしています。後日優先順位をつけて事業箇所の一覧表を提出します。
(北岡産業建設課長)

【提案】商工費の小規模事業者持続化補助金を活用してもらい北山名物のうなぎ料理などの復活やじゃばら喫茶など取り組んでほしい。

【答弁】この補助金は商工会会員が対象者なっていますので、商工会で協議をしていただきたいと考えています。
(山口村長)

【質問】道の駅のエアータオルとして50万円を計上しているが、詳細を

説明してほしい。

【答弁】道の駅のトイレにエアータオルを設置するもので、男性用トイレ、女性用トイレ、多目的トイレの3か所に設置します。
(東地域事業課長)

【質問】老朽危険空き家解体事業補助金について補正を行い3件分の予算となるが、実施希望者が多い場合は追加は可能か。

【答弁】現在1件の申請がありますが、要望がありましたら、補正予算で対応したいと考えています。
(中森政策推進室長)

【質問】教育関係の予算で計上されている中学校の研修費の内容は何か？また57万円の予算で十分足りるのか？

【答弁】この研修費につきましてはは中学校の卓球部が日体大の施設見学と卓球の指導を受けるための研修費用です。北山村は平成27年3

月から日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結しており、その協定を活用して中学生のスポーツ振興を行うものです。
(藪本教育長)



7月14、15日の郡大会で中学3年生は全員が個人戦で県大会出場、また男子は団体戦でも県大会出場を決めた卓球部員と試合の様子

発議第1号 大阪万博誘致の 決議について

2025年国際博覧会の誘致に関する決議(案)が前岡議員から提出され、万国博覧会が大阪で開催されると関西圏全体の経済活性化が期待されること、また、和歌山県内の各地域の振興、当村の観光振興に寄与することから、本定例会において全会一致で可決されました。

2025年国際博覧会の誘致に関する決議

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて我が国の存在感を示す絶好の機会となり、極めて大きな意義がある。

また、このような国際博覧会の開催は、圏域全体のみならず、和歌山県における産業振興や観光文化交流等を促進するとともに、県内各地域の振興や住民生活の向上にも寄与することが期待される。

よって、北山村議会は、大阪・関西における国際博覧会の開催を支持するとともに、誘致実現に向けた国内気運の醸成など、必要な取り組みを国、地元大阪府、経済界とともに積極的に推進していく。

以上、決議する。

平成30年6月18日提出

北山村議会



学童保育の更なる充実に向けての提案事項

福村 尚



学童保育の充実を

【提案】現在、小学校の児童に対する放課後の施策としては、水曜日は習字、木曜は英会話、金曜日は子どもの居場所づくりをやっているが、月曜日、火曜日の学校終了から午後5時半まで、又は、夏休みなど長期休暇の時は、午前8時30分～午後5時30分まで学童保育をしてはどうでしょうか。

【回答】放課後児童クラブ（学童保育）については法律で基準があり、施設面では児童一人当たりについて、概ね1.65平方メートル以上必要であり、運営面では放課後児童支援員として保育士、社会福祉士、教員等の資格を持つ人が2人以上必要となっています。

現在のところ、本村では基準を満たすことができないので、学童保育ではないが児童が自由に遊べる場として、この夏休みに試験的に、習字、英会話教室、居場所づくりのない月曜日と火曜日に村民会館を児童に開放することを検討しています。

実施期間は、7月23日から8月10日までの午前中で、内容は宿題や遊びなどをして自由に過ごすことを予定しており、送迎については保護者でお願いしたいと考えています。

なお、今年度は試験的な実施として、利用する児童の見込みや村民会館の活用には支障がないかなどを調査検討した上で、指導者の確保が可能であれば本格的な実施したいと考えています。

また、今年の夏休みは、下北山村で開催される「夏休み寺子屋教室」への送迎を教育委員会で行うことで、児童が少しでも参加しやすくなるようにいたします。

(数本教育長)

奥瀬道路Ⅲ期工事起工式、 筏流しの日本遺産登録について

前岡 武津雄



【質問】奥瀬道路Ⅲ期工事について、秋に起工式が行われるとのことですが、どのくらいの規模になるのか？

【回答】起工式については、先日紀南河川国道事務所から秋ごろに行うとの連絡がありました。日程や規模についてはまだ詳細はわかりません。

また起工式は、国土交通省が行うもので、最近行なわれたさきみの状況を見ますと、国会議員、国県の関係者、周辺市町村長、議会議員、地元住民等を招いて行われ、イベントの中身としては、餅まきを実施しています。

(山口村長)

【質問】3月議会の答弁では筏流しの日本遺産登録に向けての動きとして、「新宮市や県の担当と協議を行いながら進めていく。」ということでしたが、その後どうなっているか？

【回答】筏流しの技術の継承は、現在の観光筏を存続することで十分に行っていると考えています。情報発信の面でも、日本遺産に関わらず、ネットなどで十分情報発信ができており、昨年の海外からの筏乗船客は400人になり、今後も増加傾向にある中で、観光筏は乗船可能な人数が限られているため、今後の受け入れ体制が検討課題となっています。

北山川の筏下りとして考えた場合に奈良県の上北山村、下北山村との歴史がありますので、この地域のものとして広域的に連携した観光振興に取り組んでいきたいと考えています。また、県の無形文化遺産の中で取り組みを行い、日本遺産の申請については方向性を変えていきたいと考えています。

(山口村長)

民家近くでの有害鳥獣駆除について
ふるさと納税について
葛城議員



有害鳥獣の駆除について

【質問】民家近くでの有害駆除についてはどのような被害状況で、対処方法はどのようなになっているのか？

【答弁】民家周辺での被害につきましては、主にサル、シカの被害があります。シカの被害につきましても以前から実施している駆除の効果が出ていると聞いておりますが、北山村に限らずどこの自治体でもなかなか駆除が追い付かない現状であります。

平成29年度の捕獲数は、シカ131頭、イノシシ77頭、

サル7頭となっております。

駆除につきましては、猟友会の方々に頑張ってもらいたくはないわけですが、自衛策としてはネットを設置していただくしかないと考えております。ただ、設置補助金が2分の1で5万円が限度となっているなか有害駆除の補助金が333万円となっており、自衛策の効果が期待されるならば、ネット設置の補助制度の見直しを行う必要があると考えております。

(北岡産業建設課長)

ふるさと納税について

【質問】野田総務大臣が「返礼品を送る場合には地場産品とすることが適切であることから、良識ある対応をあわせてお願いしています。」と言っていますが、今後の返礼品、還元率をどうするのか？

【答弁】ふるさと納税の返礼品や返礼率については、総務省

からの是正要請に基づくものであり、「スーパーなどで購入可能な商品を返礼品にするべきでない」との指導があり、北山村で扱っているビールなど地場産品以外の取り扱いを止めるべき、また、「返礼率は30%以下にしなければならぬ」と県から指摘されています。

村としては、8月中に返礼品、返礼率について見直しを行うこととしていますが、自主財源の乏しい村にとってふるさと寄付金は貴重な財源であるので、他府県の自治体の状況を見極めながら対応することとします。

他府県では返礼品としてビールの取り扱いがされている現状なので、返礼品、返礼率について全国一律の取り扱いをおこなっていただきたいと県に対して申し入れを行っています。

また、ビール市場では、いわゆる「地ビール」の需要が高まっていることもあり、当村でも「じゃばらビール」の開発を検討しています。

(山口村長)

ふるさと納税については6月の定例会のほか、7月13日の総務建設常任委員会でも協議されました。

【平成29年度ふるさと納税の決算状況】

- 寄付額 12億7428万円 (96,700件)
- ふるさと納税促進事業の費用の主なもの
- 返礼品 5億9177万円 (46.4%)
- 返礼品等送料 1億2589万円 (9.9%)
- システム利用料 1億575万円 (8.3%)
- 事務委託・発送管理委託 8677万円 (6.8%)
- 基金積立金 3億1500万円 (24.7%)

(積立金は、村で行う教育・福祉・地域振興などの各種事業を実施する財源となります。)



和歌山県北山村

各地区の陳情箇所の視察

5月11日に全議員による各地区からの陳情箇所の視察を行いました。各区からの陳情は4月27日に行われたもので、国道改良に対する要望や道路の危険箇所の改良、台風による被災箇所の復旧、防災対策など幅広い内容となっております。産業建設課長とともに視察し、対応方針について協議を行いました。各地区からの陳情の主なものは次のとおりとなっています。

- 【七色区】①不動バイパスと国道の交差点に信号機の設定 ②村道溝蓋のボルトが危険で対策が必要
- ③七色ダムく渡までの国道改良
- 【竹原区】①急傾斜の擁壁からの出水対策②竹原く相須間の国道改良③急傾斜対策④河川草刈り
- 【大沼区】①国道改良（嵩上げ、2車線化）②プール周辺の道路配水対策



【下尾井区】

- ①木屋地区の歩道植え込みの撤去
- ②住吉神社横にカーブミラーの設置
- ③木屋の国道擁壁の洗掘対策
- ④寺の谷の水路拡幅

和歌山県への陳情活動

上記の各区からの陳情のうち、国道改良に係る事業については、和歌山県に対して、早期の事業実施のため陳情を行いました。

5月11日には東牟婁振興局の新宮建設部に、また6月29日には県庁の県土整備部に対して、村長、産業建設課長とともに要望事項の説明を行いました。

要望した国道改良について県土整備部の回答は、用地の確保ができれば、予算の範囲内で事業を進めていくとのことでした。

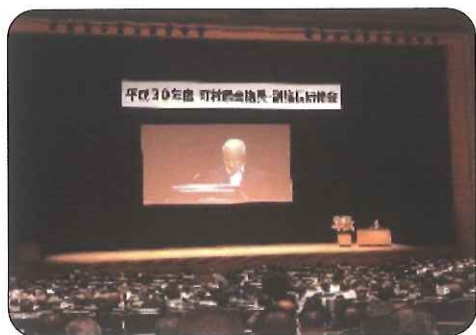
正副議長研修会

5月28日には東京国際フォーラムで開催された「平成30年度町村議長会議長・副議長研修会」に参加しました。

研修会には全国から約1800人の町村議長会議長・副議長が参加しました。

この研修会は、町村議会の議長・副議長の研鑽の場として、昭和51年から毎年行っており、平成18年度からは副議長も対象としています。

今年度の研修の議題は「町村議員の議員報酬のあり方」、「町村議会のあり方に関する研究会報告書」等で、小さな町村議会についての内容となっております。議会改革を検討している北山村議会においても参考となる研修会でした。



森林環境税創設 促進議員連盟総会

今年で25回目となる全国森林環境税創設促進議員連盟定期総会が、7月19日、埼玉県秩父市で開催されました。

今年度の定期総会については、平成30年度税制改正大綱において「次期通常国会における森林関係法令の見直しを踏まえ、平成31年度税制改正において森林環境税、及び森林環境譲与税を創設する」と明記されたこともあり、その成立を確かなものとするため、全国300以上の市町村議会が参加し盛大に行われました。



【森林環境税とは】

2024年（令和6年）から一人当たり千円を住民税に上乗せして徴収して財源とし、森林環境譲与税として市町村に交付されます。平成31年度から前倒しで譲与され、地方自治体が行う森林整備に充てられ、地球温暖化防止にも役立ちます。

「議会懇談会を開催」

村議会議員と各地区の区長及び役員が 一同に会し意見交換

6月4日、村民会館会議室において、村議会議員と各区の区長及び役員による懇談会が開催されました。

この懇談会は、議会活動の報告会ではなく、あくまでも「村民の意見を議員が聞く」ということに主体をおいて行われました。

協議の内容としては「議員定数について」を主な議題として、いろいろな意見が出され、今後の議会改革の方針を検討するための参考となりました。

現在、議員定数は6名ですが、昨年7月の村長選挙の時に、現在の山口村長が議員辞職して出馬したため、それ以来現在まで5名の議員での議会活動を行なってきました。

これまで何度か議員による協議を行なってきましたが、6名の定数でいくのか、定数を5名に減らすのかが決まらなかったという経緯があり、今回の懇談会で村民の意見を聞きたいという

考えで実施しました。

今回の懇談会で今後の議員定数の決定に向けて次のような意見がだされました。

【懇談会での意見】

○なぜ今議員定数の削減を検討しているのか？（6人から5人に変更する理由について知りたい。）
○5人と6人の差が分からない。どっちでもいいのでは？

○議員の普段の活動が見えないので判断できない。
○議員定数が少なくなると村民の意見が反映されないといいが、区の陳情などで区民の意見は汲み取れるので、定数は少なくともいいと思う。

○定数が5人になると、1人の欠員で選挙になり選挙費用がかかるというが、無投票では費用がかからない。（選挙に出る人がいない。）
また、定数を5人にすると1人分の報酬が削減されることになるので、欠員が出る

た時の選挙費用より、定数を減らすほうが費用の削減になる。

○6人の定数で、出る人がなく、無投票のとなると、議員が何を考えているかわからない。（定数5人で選挙になるほうが議員の考えが分かって投票できる。）

○話し合いで決まらないときに表決となり、4人の表決で2対2になり、議長の裁決になるといけないようなことをいつているが、議長も選挙で選ばれた一議員なので、議長が表決に加わるのは悪いことではない。

○議員が5人の村は日本どこが多いというが、北山村は北山村としてやっているの、北山村が5人ではないという判断をすれば、それでいいのではないか。

○7人の時は、意見が分かると3対3になった。

○協議事項のほとんどのは話し合いで決まっているので、5人になっても少数意見を無視することはない。など

その他の議題では、七色峡橋の建設について、今後も要望活動を続けていくという方向性が示されました。



各地区の区長、役員の皆様には、お忙しいところご参加いただき、また、たくさんのご意見をいただきました。本当にありがとうございます。（写真は議会懇談会の様子）

議 会 日 誌

5月の議員活動

- 3日 観光筏下り開航式 (オトノリ筏乗り場)
- 8～9日 奥瀬道路Ⅲ期事業化のお礼 (東京)
- 11日 各区陳情箇所視察 (村内)
- 新宮建設部への陳情 (新宮市)
- 東牟婁郡議長会総会 (那智勝浦町)
- 15日 那智勝浦町長選挙出陣式 (那智勝浦町)
- 21日 山梨県議団が北山村視察 (村民会館)
- 23日 和歌山県町村議会議長会総会 (和歌山市)
- 31日 紀勢線 (熊野新宮) 期成同盟会総会 (紀宝町)

6月の議員活動

- 1日 和歌山県政報告会 (村民会館)
- 4日 議会懇談会 (村民会館)
- 11日 議会運営委員会・全員協議会 (役場)
- 総務建設常任委員会 (役場)
- 18～20日 6月議会定例会 (役場)
- 29日 県庁県土整備部への陳情 (和歌山市)

7月の議員活動

- 2日 奥瀬道路Ⅲ期工事促進協議会総会 (村民会館)
- 10日 熊野川流域対策連合会理事会・総会 (新宮市)
- 13日 総務建設常任委員会 (役場)
- 19日 森林環境税創設促進議員連盟
- 第25回定期総会 (埼玉県秩父市)
- 31日 後期高齢者医療広域議会 (和歌山市)

8月の活動予定

- 1日 和歌山県町村議会全議員研修 (上富田町)
- 2日 国道42号線改良促進協議会 (串本町)
- 7日 高速自動車道紀南延長促進協議会 (新宮市)
- 22日 新宮広域市町村圏事務組合議会 (新宮市)



6月1日に行なわれた和歌山県政報告会では、仁坂県知事から県の各種施策について説明がありました。多くの方にご参加いただきありがとうございました。



編集後記

今年梅雨明けが早く長い夏になると言われていましたが、連日30度を超えるのが当たり前で夕立も降らなくこの暑さ(猛暑)は一体いつ頃まで続くのでしょうか。一年で最も暑いとされる「大暑」にあたる23日には村内でもなんと38度を記録したようです。全国的にも異常気象であり、もはや災害と呼んでもいいレベルの暑さです。この記録的な猛暑は皆様の生活にも大きな影響を及ぼしているようで、くれぐれも熱中症には気をつけて水分補給・休養・栄養をしっかりとって暑さに負けないような体調管理をしましょう。

さて、表紙の写真は6月30日～7月1日の2日間開催されました第3回じゃばらカップと国体近畿ブロックカヌー予選の写真です。平成27年の夏に和歌山国体でカヌー競技が北山村で開催されたことを期に毎年じゃばらカップを開催しております。今回の国体近畿ブロック予選ではワイルドウォーター部門で和歌山県代表が見事優勝し国体出場が決定しました。スラローム部門には和歌山県代表で北山村役場職員の小林君が出場しましたが残念ながら国体出場は叶いませんでした。しかし今後の活躍が期待されるほどエネルギーシユなパフォーマンスを見せてくれました。私ももう少し若ければエントリーするところですが(笑)・・・

何と言っても一番の感動は、カヌーを通じ奥瀬秘境の自然の素晴らしさを再発見させられることです。選手や関係者からも北山村コースは大変素晴らしいと絶賛されており、将来世界大会規模のものを誘致したいと考えております。来年に向けての課題ですが、国道から川に通じる道が急であり川原も歩き難く手軽に観戦できる通路等の整備を検討する必要があります。これからもこのイベントへのご支援とご協力をよろしくお願い致します。

葛城 健也